

# 「事業名：広野町における未利用資源の探索と資源化 みかんプロジェクト」

## 令和3年度補助事業の実績・成果

**福島工業高等専門学校** 連携市町村：**広野町**

現地拠点：**双葉郡広野町下北迫大谷地原65-3** ニツ沼公園パークギャラリー内 福島高専 地域復興支援室広野オフィス

### 事業のポイント

本事業は、イノベーション人材として、地域の活性化提案をする人、そのような取り組みを理解したり支援する人と定義し、さまざまな取り組みに参加しやすい環境や意識を醸成する。目的達成のために、教育、農業、環境の三分野で活動を展開し、小学生から高校生、その保護者、農業関係者、町内の方々へ向けて、微生物の探索、農産廃棄物などの資源化検討、農業分野での省エネルギーなど提案し、ニツ沼総合公園や学校など広野町内で活動を展開する事業である。

### 今年度の活動実績

本事業の活動分野は教育・農業・環境の三分野である。

#### 教育

- ・放課後理科教室  
町立広野小学校 6年生  
(微生物に特化した特別実習)
- ・実験教室(児童館)  
放課後倶楽部小1～小6

#### 環境

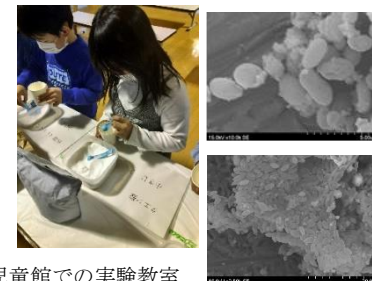
- ・有用微生物の探索  
みかんの丘、バナナ園、町内  
土壌から有用微生物の探索  
(小学生から大人まで参加)
- ・廃棄物の資源化  
町内発生農産廃棄物  
→バナナ園資材化

#### 農業

- ・施設園芸農業支援  
栽培環境の見える化  
産総研による地中熱利用実証  
熱帯果実栽培の省エネ推進
- ・廃棄物の資源化  
バナナ由来廃棄物  
→ナノセルロース供給源



みかんの微生物採取



児童館での実験教室

広野町由来酵母菌



酵母菌を使ったパンのレシピ開発

### 今年度の成果

新型コロナの感染により活動には制約が設けられたが、関係者の協力により各分野で成果を残すことができた。

- ・教育分野 放課後理科教室に加えて、児童館で実験教室を開催し、「科学」への関心を高める企画を実施できた。
- ・環境分野 町内で微生物採取を実施できた。酵母菌に限定した培養技術を開発できた。広野町の酵母菌ライブラリーの充実(発酵、分解など機能で分類を行い、企業と産業利用を検討した。町内で発生したおが屑、もみ殻などをバナナ育成資材として利用開始した。
- ・農業分野 施設園芸農業の省エネルギー、地中熱利用についてデータ収集と解析に着手できた。バナナの育成環境のモニタリングと可視化について検討、経験知の数値化に着手できた。バナナ廃棄物のナノセルロース化手法を検討し工業利用について検討した



環境モニタリングデータの確認